

# 東信

## 上田 情報発信やイベント企画

### 丸子の若手農家ら 活性化へ連携強化

上田市丸子地域の若手農業者ら7人が、連携して農業や地域を活性化するため「H EARTBEAT(ハートビート)まるこ」(小宮山耕平代表)を結成し、活動に乗り出した。農業衰退に危機感を持ち、協働して栽培や情報発信、イベント企画に取り組む。9日、市丸子地域自治センターで事業方針の発表会を開いた。

昨年11月に結成し、事業内容などを詰めてきた。メンバーは20〜50代の男性で、コムエや花き、野菜、ワイン用ブドウなどを栽培する農家や、青果卸業者ら。農家の連携強化や丸子の農産物の発信やブランド化、交流人口の拡大を狙う。本年度は、丸子・長瀬地区の水田30㌥で、県が開発したわせ品種「ゆめしなの」と、ササニシキを共同栽培し、収穫したコムエを使うイベントを計画。来年度以降は栽培面積や作物を増やし、飲食店との連携なども視野に入れる。

活動費は、全国各地の地域活性化を支援するプロジェクトを展開しているビール大手のキリンホールディングス(東京)と、市が補助。将来は自主運営へ移行する考えだ。

発表会では、丸子・西内地区で花き・コムエ栽培の「小宮山農園」を営む小宮山代表(34)が農家減少や高齢化に危機感を示した上で、丸子には多彩な農産物が生産、販売されている―とし「農業の力で盛り上げていきたい」と述べた。

若手農家が連携する方針を説明する小宮山代表(左から2人目)





上田市  
丸子地域

# 若手農業者が事業方針を発表！ 陣場台地で米2品種を協働栽培

農業で地域を盛り上げ ようと、上田市丸子地



「HEARTBEATまるこ」のメンバー

域の30代農業者中心のメンバーで結成した「HEARTBEATまるこ」(小宮山耕平代表、7人)は9日、丸子地域自治センターで事業方針発表会を開催し、関係者や来賓ら約40人が参加した。上田市とキリングループが東日本大震災を機に始めた、地域活性化支援の取り組み「復興支援キリン絆プロジェクト」の協



事業方針発表会では、小宮山代表が方針や思いを語った

の急速な減少や丸子温泉郷の観光客数減少など、現状と課題をテーマで示し、「若手農家の減少で、農家間での

力を得たHEARTBEATまるこは、2018年11月26日に正式に発足。丸子地域の若手農家が横のつながりを持ち地域を元気にするために集結し、地域や農業の課題解決に向かって挑戦していくのが目的だ。これまでに「ワインを楽しむ会in丸子」に出店したほか、「お米サミット」開催、各種勉強会などに取り組んでいる。

この日は小宮山代表が、事業方針やこれまでの活動内容を発表。小宮山代表は、地域の経営農家数の急速な減少や丸子温泉郷の観光客数減少など、現状と課題をテーマで示し、「若手農家の減少で、農家間でのコミュニケーションが薄れてしまい、個々の営農活動に振り回されるだけで丸子を発信できていない」と、現状を説明する。さらに「農業の視点から、観光客集客への1つのコンテンツとなれないか」とし、「単体の活動で終わるものではない。熱い鼓動に共鳴していただける方たちがこの地域に数多くいると確信している。熱い鼓動をかもし出し、丸子を発展させていきたい」と思いを語った。同団体は、中期目標として2021年には「4店舗以上の飲食店などとの連携」「3反以上の田んぼで米の協働栽培」「米以外2種類の農産物の協働栽培」「収穫した農産物でのイベント実施」などを掲げる。米をはじめとした協働栽培の農産物品種数や栽培面積を広げながら、農産物販売やイ

ベント収益での運営を目指し、地域の関係団体などと連携協力のもと、事業展開する方針という。今年米の栽培に適した陣場台地の麓で、米の「ササニシキ」「ゆめしなの」2品種の協働栽培に取り組み予定とした。

上田市  
「地酒」の良さを知ってほしい!  
沓掛酒造「蔵開放」に1000人

清酒「福無量」の醸造元、上田市下塩尻の沓掛酒造(沓掛由利子社長)は12日、「蔵開放」を開催。好天に恵まれ、多くの人でにぎわった。地酒の良さを知ってほしいと、平成24年に元



# 「キリン絆プロジェクト」と連携

## 遊休地活用し米協働栽培

上田市丸子地域の若手農業者らのグループ「HEARTBEAT（ハー トビート）まるこ」は小宮山耕平代表、7人組はこのほど、丸子地域自治センターで本格的な事業活動の発表会を開いた。活動を支援するキリングループの「キリン絆プロジェクト」と上田市と共に行った。

### 丸子の若手農業者らのグループ

キリングヤードがあり、これまででも「爆水RUN」などでキリンとの関わりがある。

16年からは被災地支援だけでなく、日本各地の社会課題の解決に、食を通じて地域と一緒に取り組み、地域創生へのチャレンジを石川県七尾市や新潟県長岡市などで行った。

原料生産地の地域活性化は、ホップ生産地の岩手県遠野市や秋田県横手市で、生産者の後継者不足を食い止める、ビールを軸にしたまちづくりを推進。丸子地域はキリンググループ、メルシャンのワイン用ブドウを栽培する陣場台地の椀子ワイン



発表会に集まったメンバー

間を増やしたいなどの思いから昨年11月に結成。30代の農業者が中心で、地域農業を元気にしようとして活動している。グループ名は、活動に対する熱い思い、胸の鼓動から名付けた。

活動の方向性は▽丸子農家のネットワーキング・交流▽丸子の気候、風土に適した農産物栽培、開発とブランディング▽ツーリズム事業の企画など。こ

れまでに勉強会やワインを楽しむ会、「お米サミット」などを行った。お米サミットでは、ワインとの相性をイメージした参考レシピを、ル・ポタジェと料亭結環の協力で作成。米の品種「ゆめしなの」「ササニシキ」の可能性を議論した。

今年度は「ゆめしなの」「ササニシキ」を長瀬の遊休農地の水田で協働栽培し、秋に収穫した米でイベントを行う。また飲食店などとの連携イベントも行う予定。水田は3反だが、来年以降は面積を増やし、連携する飲食店も増やす計画。

発表会で小宮山代表（34）は「丸子では農家の減少が著しく、若手農家が少なくなり、互いのコミュニティーションができず、発信できていない。横のつながりをつくり課題に向かつて挑戦したい」と話し、事業方針を発表した。副代表は依田農産の依田昌幸さん、事務局は青果卸業の齋藤恵介さん。このほかのメンバーは春原勇太さん、田口航さん、中澤一輝

さん、金子和夫さん。土屋陽一上田市長は「地域の先導役で活躍し、農業を発展させてほしい。行政としてもしっかりと支援する」。キリンホールディングス執行役員の野村隆治CSV戦略部長は「大

切なのは人。地域を背負う信念を持った若い人がいるかどうかでプロジェクトの成功が決まる。しっかりとメンバーなので将来楽しみ」とあいさつ。陣場台地研究委員会の堀内汀会長とキリンビール

### 市町村長 きょうの主な日程

- ◇上田市長
  - 午前9時 部長会議
  - 同日11時半 定例市長記者会見
  - 午後1時 6月補正予算市長査定
  - 同日3時 市政経営会議
- ◇小諸市長
  - 午前8時半 政策会議
  - 同日11時半 市町村対抗駅伝報告会
  - 正午 庁内打ち合わせ
  - 午後1時半 小諸防犯協会連合会役員会（小諸警察署）
  - 同日4時 小諸市・信州大学産学官連携協定更新締結式
- ◇東御市長
  - 午前9時 6月補正予算市長査定
  - 午後2時半 湯の丸高峰レクリエーションの森環境整備運営協議

年度事業実施村長レク（教育委員会）  
 ◇坂城町長  
 ■午後7時 坂城町女性団体連絡会総会

**瀨音**  
 2019.5.15  
 いままで、6割以上を外国に輸出していたプラスチックのラスタックがゴミのクゴミが新たに海へと流失しているという。2050年には、海中に存在する魚の量を、プラスチックゴミが超えるというのだ。5ミリ未満のマイクロプラスチックと呼ばれる大きな原因になっている。このよう小さなものは魚介類や海産物だけでなく、人体からも見つかるという。いま、日本の人口1人あたりのプラスチック容器・包装の廃棄量はアメリカに次いで世界第2位である。プラスチックは便利な素材であるから、いきなり

**プラスチックゴミ問題**  
 プラスチックゴミ問題は、環境汚染、健康被害が原因で、廃プラの輸入を制限するようになった。日本国内でプラスチックのリサイクルが進まないのは、まだ設備が十分に整っていないから。要するに採算が合わないために、

長野支店の権原直美と店長が激励した。協働栽培の田植えは18日、上長瀬南交差点付近の水田で行う。

**振袖 袴 七五三 スタジオ・ロケ撮影**  
**和涼座**  
 きもの房  
 上田市小牧 26-8833



# 丸子の遊休地活用し田植え

上田市丸子地域の若手農業者グループ「H.E.A.R.T.B.E.A.T (ハートビートまるこ)」はこのほど、同地域の遊休荒廃農地を活用し、「ゆめしなの」の田植えを行った。活動を支援するキリンググループの「キリン絆プロジェクト」との連携事業。

代表の合図で植え始めた。カエルの鳴き声の応援歌に励まされながら、地域のためを思い汗を流した。

「ゆめしなの」は、標高の高い地域でも栽培できる長野県で開発された品種。田植えは後日、約1322㎡の田でも行う予定。また、「ササニシキ」は約1057㎡の田で栽培する。

## 若手農業者グループ「ハートビートまるこ」

グループでの活動は今回が初めて。地域に根を下ろし活動するという思いをメンバー7人全員で共有するため、農機具を使わず



田植えに汗を流す



活動がスタートし意気込むメンバー

米はイベントなどで販売するほか、近隣のレストランなどに卸す予定。来年からは米以外の栽培も考えている。

同グループは、30代の農業者が中心で、地域農業を元気にしようと活動している。

メンバーで花農家の春原勇太さんは「田植えの経験はほとんどないが、いつかは経験したいと思っていた。地域のためにもなり、自身のためにもいい経験になった」と話していた。

中央  
丸子  
病院



病院ロビーギャラリーで写真展を開いている。30日まで。同病院での開催は初

竹花会長は「会員はみんな感性が違い、同ような写真がない。美しい写真が患者さんらの心の癒しになればうれしい」と話した。

観覧は平日の午前10時から午後5時まで。入場無料。

同グループの小宮山耕平代表は「丸子地域を広める活動がスタートした。最初の一步をみんなと共有して、地域に根を下ろしていく。地元の人にもっと活動を知ってもらい、興味を持ってもらえるように続けていきたい」と話している。

## 楽器



- ◆管楽器販売・修理
- ◆ピアノ調律
- ◆管楽器・ピアノ音楽教室

## なすの楽器

上田市中央北 2-7-17  
TEL0268-25-7510